異常天候早期警戒情報への降雪に関する情報の付加について

「低温に関する異常天候早期警戒情報」を公表する際、日本海側を中心とした地方を対象として、7日間降雪量が「かなり多い」可能性が大きいと予想される場合に、降雪に関する情報を付加し、注意を呼びかけます。降雪の情報の付加は平成24年11月2日（金）発表分から実施します。

1. 目的

強い寒気に伴い数日以上にわたり降り続くことによる「かなり多い」(※)降雪により、家屋損壊、交通障害、果樹の枝折れや農業施設への被害等が発生することがあり、一昨冬、昨冬と日本海側中心に各地で大きな被害が発生しています。こうした「かなり多い」降雪による被害軽減・防止を目的とし、事前準備、事前対策に資する情報として発表します。

2. 概要

概ね1週間後からの7日間を対象とした「低温に関する異常天候早期警戒情報」を公表する際に、北陸地方など地域の7日間降雪量が平年より「かなり多い」可能性が30%以上である場合、留意事項とともにその情報を付加します（別紙）。

発表対象は、冬型の気圧配置に伴う降雪が卓越する日本海側を中心とした地域（別紙下表）です。発表期間は11月～3月で、毎週火曜日と金曜日に発表の検討を行います。

3. 想定される利活用

本情報は、除排雪の事前準備（スケジュール調整等）、屋根雪等の早期の除雪、農業施設の補強や果樹の枝折れ防止などの事前対策、除雪中の事故への注意を促す事前のキャンペーンの実施などへ利用されることを想定しています。

※「かなり多い」とは、その地域・時期において、10年に1度程度しか現れない現象を言います。

[本件に関する問い合わせ先]

気象庁地球環境・海洋部気候情報課（03-3212-8341 内線 3130）

降雪の情報を付加した異常天候早期警戒情報の例
 (下線部が「低温に関する異常天候早期警戒情報」に付加する内容)

低温に関する異常天候早期警戒情報 (東北地方)
 平成〇〇年1月20日14時30分
 仙台管区气象台 発表

要早期警戒

警戒期間 1月25日頃からの約1週間
 対象地域 東北地方
 警戒事項 かなりの低温 (7日平均地域平年差-2.3℃以下)
 確率 30%以上

今回の検討対象期間 (1月25日から2月3日まで) において、東北地方では、1月25日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり低くなる確率が30%以上となっています。この状態は1月28日頃からの1週間まで継続する見込みです。

また、この期間、東北日本海側を中心に降雪量が平年よりかなり多くなる確率が30%以上となっています。

除雪等への対応、水道管の凍結、農作物の管理等に留意して下さい。また、今後の気象情報に注意して下さい。

<参考>

降雪に関する情報は東北日本海側で平均した7日間降雪量を対象としており、この期間の「かなり多い」降雪量は、平年の141%以上です。

参考として、この期間の主な地点の7日間降雪量の平年値を以下の通り掲載します。

地点	平年値
青森	54センチ
秋田	33センチ
山形	37センチ
若松	41センチ
新庄	67センチ

降雪の情報を付加する対象地域

降雪付加対象地域	「低温」発表地域 (※)	発表担当官署
北海道日本海側	北海道地方	札幌管区气象台
東北日本海側	東北地方	仙台管区气象台
北陸地方	北陸地方	新潟地方气象台
長野県北部・群馬県北部	関東甲信地方	気象庁
岐阜県山間部	東海地方	名古屋地方气象台
近畿日本海側	近畿地方	大阪管区气象台
山陰	中国地方	広島地方气象台

(※) 「低温に関する異常天候早期警戒情報」の発表地域